

ロケ地の撮影ウラ話

舞台の大半は としまえん

初のとしまえん全面ロケを敢行。お馴染みのアトラクションや、普段はロケに使われない場所まで登場します。

勤務地でロケが行われ、タイトルまで「としまえん」になるなんてビックリ！ 乗り物の運転やエキストラ参加でご協力させていただきました。撮影は営業時間外。限られた日程の中、雨で思うように進まないこともあったので、監督やスタッフが予定を変更しながら撮影をしていて大変そうでした。空き時には女優さんたちが、園内の乗り物、コークスクリューやブローエンジン、トロイカなどに乗って楽しむ場面も。そんな無邪気な様子が、本番になると一転！ 真剣に取り組む姿を見て「さすがプロだ」と感心しました。
(株式会社豊島園の上野健太郎さん)



カルーセル エルドラド

100年以上の歴史をもち、機械遺産にも認定された回転木馬。ここで何が起るのか!?



光が丘のレストラン

乾杯のシーンは、光が丘公園に隣接したイタリアンレストラン「ピッコラ・イタリア」で撮影されました。



マスターの藤本岳裕さん

たった数分のシーンですが撮影には4~5時間かかり、本当に大変なんだなと実感しました。用意したのは前菜とシャンパン。あっ、もちろん本物ではなく、ジンジャーエールです(笑)。撮影中は音を立てないように、厨房で静かにしていました。店がどんなふう映っているのか、映画館へ観に行こうと思っています！

主演・北原里英さん インタビュー



北原里英(きたはら りえ)さん
AKB 48グループでの活動を経て、現在は女優として映画・舞台・ドラマで活躍中
(スタイリスト: 山田梨乃/ヘアメイク: 熊谷美奈子)

女性の意地悪な内面もかなり怖い…!? 見どころがいっぱいの映画です

AKB 48時代にメンバーと「としまえん」に遊びに行ったことがあるので、出演のお話をいただいた時は「あの楽しい場所で撮影できるんだ！」とワクワクしました。ホラー映画なので、驚いて目を見開く場面では、自分の目の大きさを活かさせたかなと思います(笑)。恐怖に駆られて全力で叫ぶシーンは、自分の殻を破る意気込みで臨みました。いろいろなアトラクションが登場しますが、消えた友人を探しに行くミラーハウスのシーンが印象深いですね。撮影前にルートを何度も確認したのに、鏡に囲まれ方向感覚がつかめなくなり、怖さが倍増しました。

女同士の人間関係も見どころのひとつ。心の奥の意地悪な部分とか、八方美人なところとか…誰もが思い当たるような女子あるあるが満載です。地域密着の作品なので、Kacce読者の皆さんのアクションも上がるのではないのでしょうか。映画館で観ていただけたらうれしいです♪

「映画 としまえん」 地元の遊園地が ホラーの舞台に!



「木馬の会」の旧事務所

としまえん正門近くにある大正時代に建てられた館が重要なスポットに!



主役を演じた
北原さん

昨年5月のクランクインから Kacceの誌面で紹介してきた「映画 としまえん」が、ついに封切り。怖い映画なのに、地元・練馬が舞台とあって、試写では夢中で最後まで見入ってしまいました。これを機に、としまえんが全国区になるかも!? 主演・北原里英さんのインタビューと、ロケ地の撮影ウラ話をお届けします!

5月10日(金)より
ユナイテッド・シネマとしまえん
ほか 全国公開



映画 としまえん

高校時代から仲良しの女子大生5人がとしまえんに遊びに行き、都市伝説の「としまえんの呪い」を冗談半分で試したところ、次々と恐ろしい現象が…。1人また1人と夜の園内に消えていく、逃げ場のない恐怖感に加えて、女性の微妙な心理描写も見どころです。

© 2019 東映ビデオ
toshimaen-movie.com



監督・脚本は高橋浩さん
「鉄道員(ぼっぼや)」「半落ち」で助監督を経て、今作で商業映画デビューです



区民からオーディションで選ばれた女子大生も登場!
「生まれも育ちも練馬」で、地元が大好きという吉川美結さん